

(この便りは、相双建設事務所と富岡土木事務所が取り組む復旧・復興事業の進捗状況などをお伝えするものです。)

◆土砂が崩落した道路斜面を復旧しています。

県道大芦鹿島線の南相馬市鹿島区榑原（じさばら）地内では、震災により道路の斜面が大きく崩落し、現在通行止めとなっております。

今回の崩落は幅が約30m、高さが約100mと規模が大きかったため、対策工法等を決めるにあたり、詳細な地質調査などを実施するとともに、関係機関と綿密な協議を重ねてきました。

その結果、斜面をコンクリートの枠で固める工法を採用することとし、平成26年11月に対策工事に着手しました。

現在は崩落土砂の撤去などを実施しており、工事完成は平成27年度になる予定ですが、通行止めによる地域の皆さまへの影響などを一日も早く解消できるよう、引き続き迅速な現場作業に取り組んでまいります。

相双建設及び富岡土木事務所では、この他の道路でも同様な危険がある箇所それぞれ対策工事を進めており、今後の自然災害において通行止めなどを発生させないように、防災機能の強化を図ってまいります。

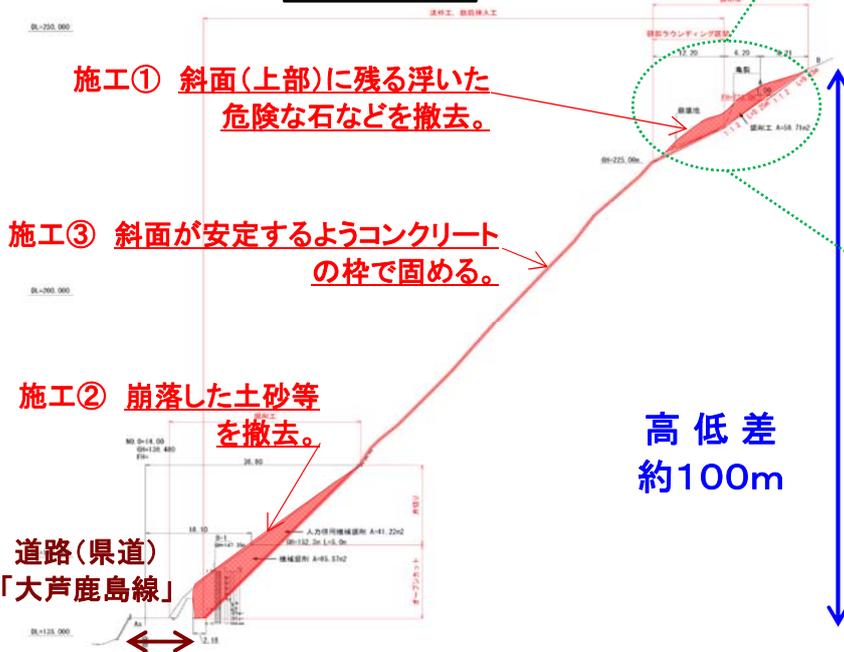


特殊な機械で斜面の上部に残る危険な石などを撤去。



斜面の崩落状況

断面図



工事監督員の声 (柳沼副主査)

現場は高さ100m以上で作業等が難しい場所ですので、安全確保に努めながら、一日も早く安全で安心な道路の再開通ができるよう、取り組んでまいります。

現場担当者の声 (ミドリ環境建設：高橋さん)

現在、崩落土砂の撤去や、斜面に残る危険な石等の撤去作業を行っています。無事故での早期復旧を目指します。

◆常磐自動車道・南相馬鹿島スマートICへのアクセス道路を改良しました。

2月21日（土）、南相馬市鹿島区浮田地内に、常磐自動車道で福島県唯一であるサービスエリア（SA）が開業し、SAに接続する形で南相馬鹿島スマートインターチェンジ（SIC）も開通しました。

それらへのアクセス道路となる新しい市道が県道相馬浪江線に接続することに伴い、相双建設事務所では、県道の線形が悪く急勾配であった交差点前後の640mを改良しました。

本事業では、さらに歩行者等の安全を確保するため歩道を新設しており、歩道工事もまもなく完成する予定です。

これにより、SICやSAへの安全で円滑な通行等が可能となり、福島県の復興を後押しする常磐自動車道のさらなる利便性向上が期待されます。



改良後の状況（県道と市道の交差点部）



改良後の状況（県道相馬浪江線）

工事監督員の声（堀江技師）

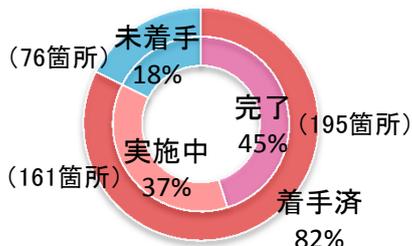
SIC開通にあわせ工程を調整し工事を完成できました。これにより相馬地方の復興が加速することを期待致します。

現場担当者声（後藤建設工業：菅野さん）

交通量の多い現道を改良する工事で大変な面もありましたが、復旧・復興を加速させる現場を担当できたことをうれしく思います。

◆その他の情報

◇震災等の災害復旧工事の進捗（H27.1月末）



※対象は相双建設、富岡土木が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

◇県道原町川俣線

八木沢トンネルの掘削状況

H27.2.24現在、全長2,345mのうち南相馬市側から901m地点を掘削中。

○次回は、「ふくしま復興再生道路（五枚沢工区）の整備状況」をお伝えする予定です。

（事業の進捗状況等により変更する場合があります）